

株式会社 鳥泉

DX宣言書

2025年6月6日
株式会社 鳥泉
代表取締役 泉田 安夫

□ 経営理念

お客様と共に「美味しい」を創り出す
食で笑顔を創り出す

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 業務プロセスを最適化し、社員の負担を軽減することで、本来の業務に集中できる職場環境を整えます
- ◆ デジタル技術を活用した需要予測を行い、適正な在庫管理を可能とすることで、顧客ニーズに応え、信頼される企業を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年11月)

戦略 「DX推進の下地づくり」

- 施策
- ・ DX推進の重要性を理解してもらうため、経営層を対象とした勉強会やワークショップを開催
 - ・ 業務改善の現状と課題を共有し、経営層の意見を反映した戦略を策定

➤ フェーズ2(2025年12月 ～ 2027年5月)

戦略 「業務効率化の基盤づくり」

- 施策
- ・ DX推進の方向性や重要性を理解してもらうため、全社員に向けた説明会を実施
 - ・ 全社員を対象に、ITリテラシー向上を目的とした基礎研修を実施し、デジタル活用への理解を深化
 - ・ 配送準備と段取りに余裕を持たせるため、受注から出荷、納品までのプロセスを見直し
 - ・ 受発注システムの活用を促進するため、操作方法や業務への活用を学ぶ実務研修を実施
 - ・ 業務量の可視化とスケジュール管理の最適化を図るため、受注締切日や受注締切時間の設定を検討

➤ フェーズ3(2027年6月 ～ 2029年5月)

戦略 「在庫管理の最適化と需要予測の強化」

- 施策
- ・ 在庫の適正化を図るため、在庫状況をリアルタイムで把握できるシステムを導入
 - ・ 全社員へのデジタル活用等の定着を支援するため、DX推進チームが中心となり勉強会開催やユーザマニュアル整備等を実施
 - ・ 過去の販売データを蓄積し、AI等を活用した需要予測ができる環境を整備
 - ・ データ分析を活用した業務改善の取り組みを実施

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 受発注システム稼働率 : 70%以上(～2028年5月)